

福島第一原発と津波に関する年表

		東電による 津波想定(m)
1966	福島第一原発1号機、設置許可申請	3.1
1967	プレートテクトニクスの成立	
1968		
1971	福島第一原発1号機、営業運転開始	
1986	仙台平野で貞観地震の津波堆積物見つかる	
1993	北海道南西沖地震 資源エネルギー庁が津波の想定見直し指示	3.5
1995	阪神・淡路大震災	
1997	旧建設省など七省庁が津波想定方法(七省庁手引き)で日本海溝の津波地震を予測	4.8
1999	フランス・ルブレイエ原発に高潮が浸水、電気系の機能喪失	
2000	国内の原発の中で、福島第一原発が津波に最も余裕が無いとわかる(電事連報告書)	5
2002	土木学会が津波評価技術(土木学会手法)を策定 地震本部が福島沖の津波地震を予測	5.7
2004	中央防災会議が、地震本部の津波地震を被害想定から外す スマトラ沖地震の津波でインド・マドラス原発に被害	
2006	原子力安全・保安院が溢水勉強会を開く 耐震指針が28年ぶりに全面改訂される、耐震バックチェック開始	
2007	新潟県中越沖地震、柏崎刈羽原発で想定約4倍の揺れ	
2008	東電が津波地震の津波高さを計算	15.7
2009	東電が貞観津波を想定していないことを耐震バックチェックWGで指摘される	
2010	福島第一3号機でプルサーマル開始	
2011	東北地方太平洋沖地震	